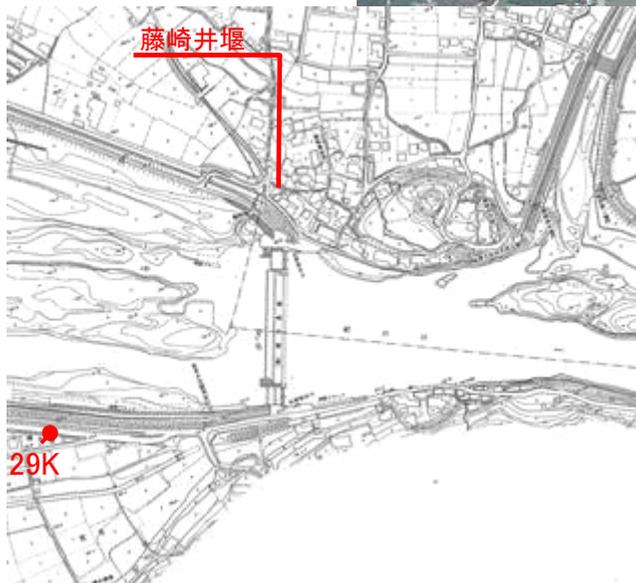
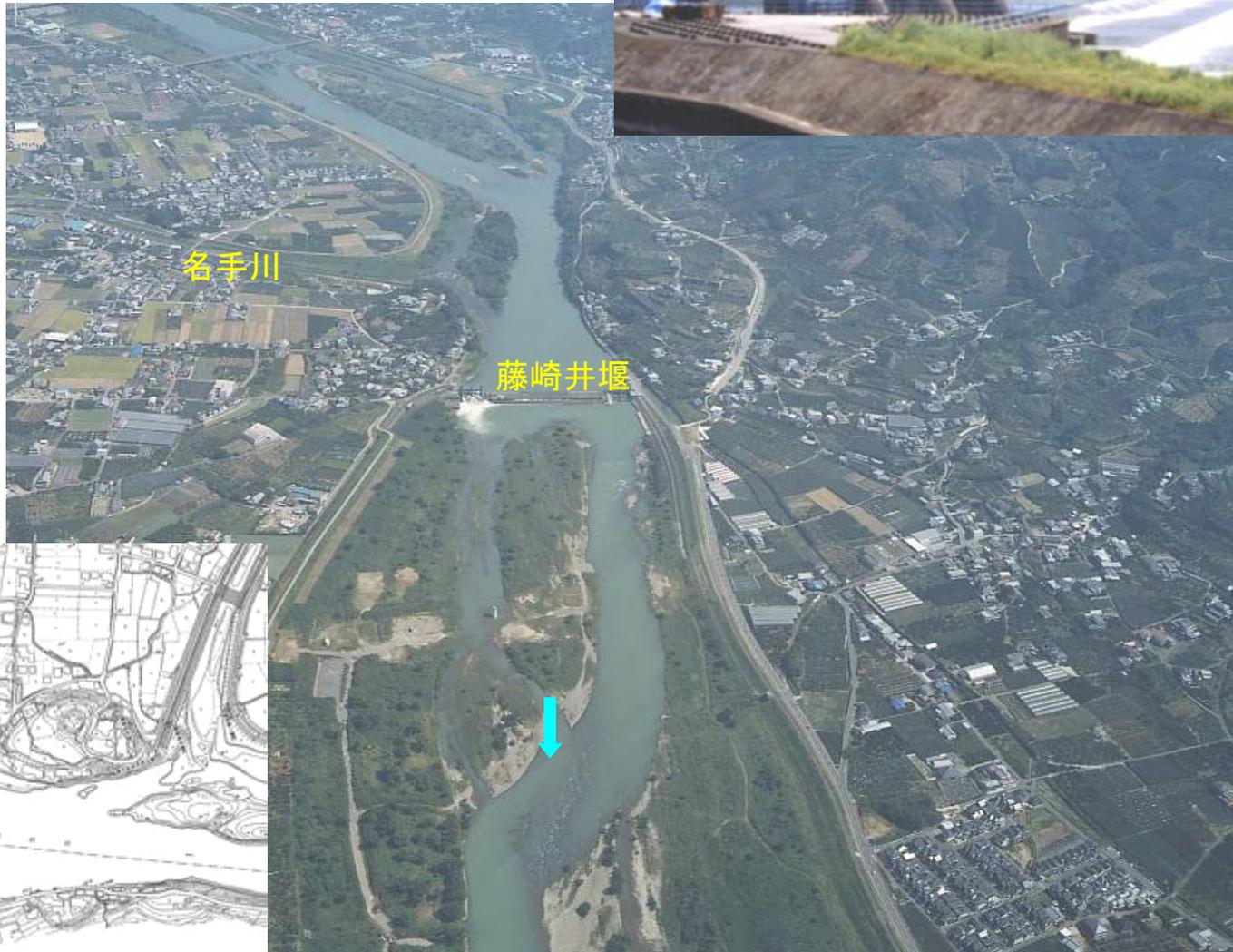


# 狭窄部対策(藤崎)



藤崎井堰

# 藤崎狭窄部の対策案

## ▼改修の概要

当該地区は流下能力の不足量が多いため、堰の改築が必要と考えられる。また、藤崎井堰は堰の固定延長が長いことから、部分改築と全面改築は、ほぼ同規模の改修となる。

そこで、当堰を撤去し、全面改築すると共に堰上流部の堆積土砂と掘削する対策を考えてみた。

## ▼流出量と流下能力の比較

単位：m<sup>3</sup>/s

藤崎狭窄部		
流出量		6,200
流下能力	現況河道	4,610
	全面改築	9,200

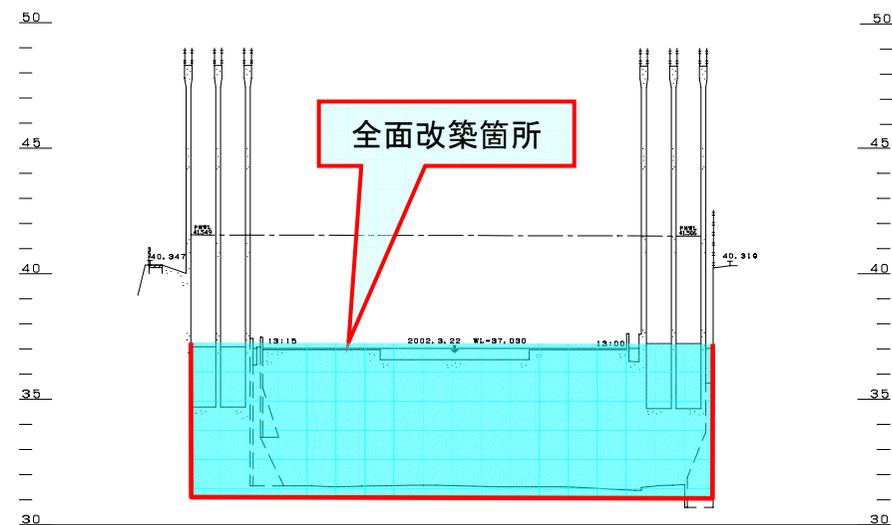
## ▼改修の課題

- ・井堰の改築には、上流部の堆砂対策と共に上流の中州等の掘削が必要である。
- ・環境への対応が必要である。

## ▼改修イメージ



## ▼横断イメージ



# 昭和34年9月洪水(伊勢湾×1.0)の想定氾濫状況

大滝ダム  
2500m<sup>3</sup>/s一定放流

